

再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：下保 修

事業名	おびひろ ひろお 帯広・広尾自動車道 一般国道236号 川西中札内道路		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 北海道開発局
起終点	自：北海道帯広市川西町基線53番地 至：北海道河西郡中札内村字協和		延長	19.0 km		
事業概要	帯広・広尾自動車道は、北海道横断自動車道帯広ジャンクションから分岐し、広尾町に至る延長約80kmの一般国道の自動車専用道路である。このうち川西中札内道路は、帯広川西ICから中札内ICに至る延長19.0kmの区間で、国土・地域ネットワークの構築により、物流効率化の支援、円滑なモビリティの確保に寄与する道路である。					
S63年度事業化	H1年度都市計画決定		H10年度用地着手		H12年度工事着手	
全体事業費 (暫定2車線)	771億円 (638億円)	事業進捗率 (暫定2車線)	78% (94%)	供用済延長	13.0km	
計画交通量	9,000~11,200台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.9 (残事業) 4.0	総費用 (残事業/事業全体) 174/860億円 事業費：145/790億円 維持管理費：29/70億円	総便益 (残事業/事業全体) 702/1,610億円 走行時間短縮便益：628/1,437億円 走行費用減少便益：48/121億円 交通事故減少便益：26/53億円	基準年	平成19年	
感度分析の結果	残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=4.4（交通量+10%） B/C=3.6（交通量-10%） 事業費変動：B/C=3.7（事業費+10%） B/C=4.4（事業費-10%） 事業期間変動：B/C=4.0（事業期間+20%） B/C=4.1（事業期間-20%）					
事業の効果等	・国土・交通ネットワークの構築（日常活動圏中心都市へのアクセス向上） ・物流効率化の支援（大都市圏への農林水産品の流通の利便性向上） ・個性ある地域の形成（拠点開発プロジェクトを支援する）					
関係する地方公共団体等の意見	他7項目に該当					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	地域間交流の活発化、食料供給力の安定確保、空港・港湾へのアクセス強化による物流の効率化などの実現に向けて、帯広市など1市7町の首長等で構成される高規格幹線道路帯広・広尾自動車道早期建設促進期成会等より早期整備の要望を受けている。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	平成12年度より工事着手して、用地進捗率99%、事業進捗率78%となっている。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	引き続き事業が順調に進んだ場合、平成20年度に暫定2車線供用を予定している。					
施設の構造や工法の変更等	道路の縦断・平面線形の見直しや、盛土層の厚層化等によりコストの縮減を図っている。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図	川西・中札内道路 L=19.0km 					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

